

平成31年第4回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 平成31年4月23日（火）
 開 会 13時30分
 閉 会 14時30分
 場 所 横田庁舎 三階 第二委員会室
 出席委員 福田充雄教育長職務代理者 荒金勇吉教育委員
 谷尻圭子教育委員 松原律子教育委員 塔村俊介教育長
 委員会事務局 堀谷智樹教育魅力課長
 永瀬克己結婚・子育て応援課長
 長谷川史郎教育魅力課長補佐

塔村教育長

（挨拶）

「学校再編にかかる新聞報道について」

- ・議論をせず今年の7月に決めるとの報道が出たがそのような考えはなく、しっかりと議論を経ていきたいという思い。
- ・建て替え活動をやっていた地区もあり、再編への考え方に温度差がある。学校が無くなる前提で話す人がいれば、これまでの活動を継続できるか心配する人もいる。地域の反応などご存知なら、この場で情報共有したい。

福田委員

- ・八川ではなぜ建て替えをしたのかという話が出ている。統合が分かっていたならもったいない投資だったのではないかという意見。
- ・議論の期間が短いと言う意見が多い。「もう2年くらいかけてやってもいいのでは」という意見。議論しなくてはならないという気持ちは感じる。

塔村教育長

- ・（学校建設に係る）補助金返還の質問も出た。補助金のみならず、町の財源も使って建てている。これまでの投資については、見通しの甘さについて謝罪するしかない。費用の多寡より子供たちの環境を重視した結果、余分なお金をかける結果になった。
- ・今の学校を残すか、新しい学校に移るか。子供たちの事を一番に考えるならば、今回提示した方針が合うと思っている。
- ・期間設定については、「期間が短い」という考え方と「3年後の統合を目指すのではなく、4、5年後あるいは10年後でもいい」という考え方の2つがあることは承知してほしい。

福田委員

- ・どこかで期限を切らないと議論はできない。目安としてこの期間が出ているが、最終的にはみんながどうなのかという話なので、そうしないと行政の責任は保

| | |
|-------|---|
| | <p>てない。きちんと示すことは示すべき。</p> |
| 谷尻委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・八川と馬木では、なんで早く言わなかったかという意見が出た。「2009 年からずっと言っていた答申をなぜ今さら」という反応もあった。2022 年という数字が出ているが、10 年後に統合を考えようといっても遅い。子供の人数を見れば分かった（その住民へは）説明した。 ・新聞報道にも出たが、高学年は教科が別の担任となると複式では対応できないし、10 年も複式学級を続けるとはという問題にもなる。英語の担当、専門の教科を別に持つという動きが出た時点で、統合に向けての議論が必要になった。具体的な数字、年が出て良かったのでは。切羽詰まっているということの危機感を抱く機会になった。 |
| 荒金委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒園式、入学式に参加した地区では、保護者が戸惑っている感じは受けた。ある個人から統合について反対意見を投げかけられ、今後の児童数等について時間をかけて説明したが、話の仕方によっては相手の意見を全く否定する恐れを感じた。お互いに現状を見て、結論が出るような議論をしなくてはならない。 |
| 谷尻委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・以前幼稚園を廃止する際に、幼稚園を廃し、保育所を設けるという説明を各地区で行った。その際は、今の子供たちの現状を見てもらい、これからの子供たちがどうあったらよいかと話をした。 ・保護者の方々に理解を得るには、丁寧な説明が必要であり、質疑に適切に対応していかななくてはならない。 |
| 松原委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・先月の定例会では穏便にという表現を使ったが、協議や検討はお互いの気持ちをぶつけ合うべきでは。言いたいことを言い合った上で、わだかまりなくスタートしたほうがいい。 ・誰もが子供たちのために同じ方向へ進めるか、が奥出雲町の再編ではないだろうか。 |
| 塔村教育長 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長会、民生児童委員の会では、統合自体に大反発とはほどではなかった。 ・議論の期間、進め方は真摯に取り組む必要がある。 ・場合によっては統合からの離脱を想定している地区もあるが、全町規模で議論しているので、どの地区も一緒に統合という雰囲気もある。 ・以前、高尾小学校では統合寸前まで話を進めながら、合意に至らなかった。2022 年という結論ありきではなく、2022 年を目標に話し合いを続けていく。 |
| 福田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・高学年は教科担任だとすると、ある程度大きい教師集団がないと子供たちに学力補助等を十分に出来ない時代が来る。教える側の環境づくりも大切。 |

| | |
|-------|--|
| 塔村教育長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区は地区で子供のことを考える、子供を育てる環境を作らなければならない。学校に任せきりで子供が育つ時代ではない。そういう観点からも地区との議論は必要。 |
| 塔村教育長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的には統合に向かう方向だが、建て替えの計画が残っている地区もあり、地区と保護者が学校を残して欲しいと言う結論になれば、それを否定は出来ない。6～7月にかけて地元説明会を行う。 <p>「教育委員人事について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月議会で松原委員の後任教育委員として高橋美奈さんの同意をいただいた。横田幼稚園保護者会副会長、横田小学校PTA副会長を歴任。来月任命式の後、教育委員会議に入っていく。 <p>※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言</p> <p>※会議録署名委員 福田委員</p> <p>《議事》</p> <p>①奥出雲町立学校教職員旧姓使用取扱要綱の制定について 資料により説明（教職員の旧姓使用可能へ取り扱い変更）</p> |
| 事務局 | |
| 谷尻委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ その方が社会生活しやすいという流れか。 |
| 塔村教育長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今の時代では変えたがらない方もいる。ご本人の考え方による。 <p>*その他質疑なし</p> <p>*全会一致で議案を議決</p> <p>②奥出雲町立学校教職員の自家用自動車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について 資料により説明（教職員、児童生徒を同乗させることができる者を、校長のみから対象者を拡大する改正）</p> |
| 事務局 | |
| 福田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで第6条2項に該当することはあったか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会に報告はない。 |
| 荒金委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定した職員は、あらかじめ決めておくということか。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の中で、緊急体制として決めておくことになる。 <p>*その他質疑なし</p> <p>*全会一致で議案を議決</p> |
| 事務局 | <p>《その他諸連絡》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成31年度定例教育委員会開催日（案）」について説明 ・「机配置、事務分掌、主要事業」について説明 ・5月定例会について（5月27日（月）午後4時～ ） <p>（定例会終了）</p> <p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p> <p style="text-align: center;">福田 亮 雄</p> <p style="text-align: center;">塔村 俊 介</p> |